

1 「政策評価」とは

(1) 「政策評価」の位置付けと役割

袋井市では、袋井市総合計画後期基本計画（平成23～27年度）に基づき、市民に開かれた市政運営を推進するため、平成23年度から政策・取組レベルでのPDCAの仕組みを構築（体系化）し、結果を公表しています。

「政策評価」は、政策・取組ごとに前年度の指標目標（成果）や事業内容等ができる限り客観的に評価（チェック）し、今後の方向性などを展望（業務改善）し、総合計画後期基本計画における事業全体の推進を図り、多様化する市民ニーズに対応できる個性あるまちづくりを目指して実施するものです。

また、政策評価の結果は、市民の皆様に公表するとともに、今後の施策や事業の改善をはじめ、重点化すべき施策の検討に活用します。

(2) 取組経過

平成 23 年度 試行実施

平成23年12月 平成22年度の政策評価結果を公表

平成 24 年度 ～ 本格実施

9月市議会で前年度の政策評価結果を報告

(3) 「政策評価」の対象と手法

ア 評価の対象

総合計画後期基本計画に掲載した本市が目指すべき基本的方向である“6つの政策”と、政策をより具体化した行政活動の目標となる“29の取組”について、それぞれの評価を行っています。

イ 評価の手法

最新の国内外情勢などの社会潮流や、本市の現状分析など「定性的な観点」と、指標の進捗状況等による分析や事業評価表に基づく事業実績などの「定量的な観点」とを織り交ぜた客観性の高い評価を行い、各取組を4段階（4～1）で評価し、今後の展開方向を展望します。

指標の評価は、目標値を一年ごとに上げて設定しているため、前年度より成果が上がっている場合でも、前年度と同じ、又は低い評価になる場合があります。また、市民意識調査の結果を使用している指標では、毎年対象者を変えて実施しているため、年度によって結果にばらつきが出ることがあります。

6つの政策の観点から、各政策に属する取組を総合的に評価して、各政策を4段階（A～D）で評価し、次年度の市政運営の基本方針を展望します。

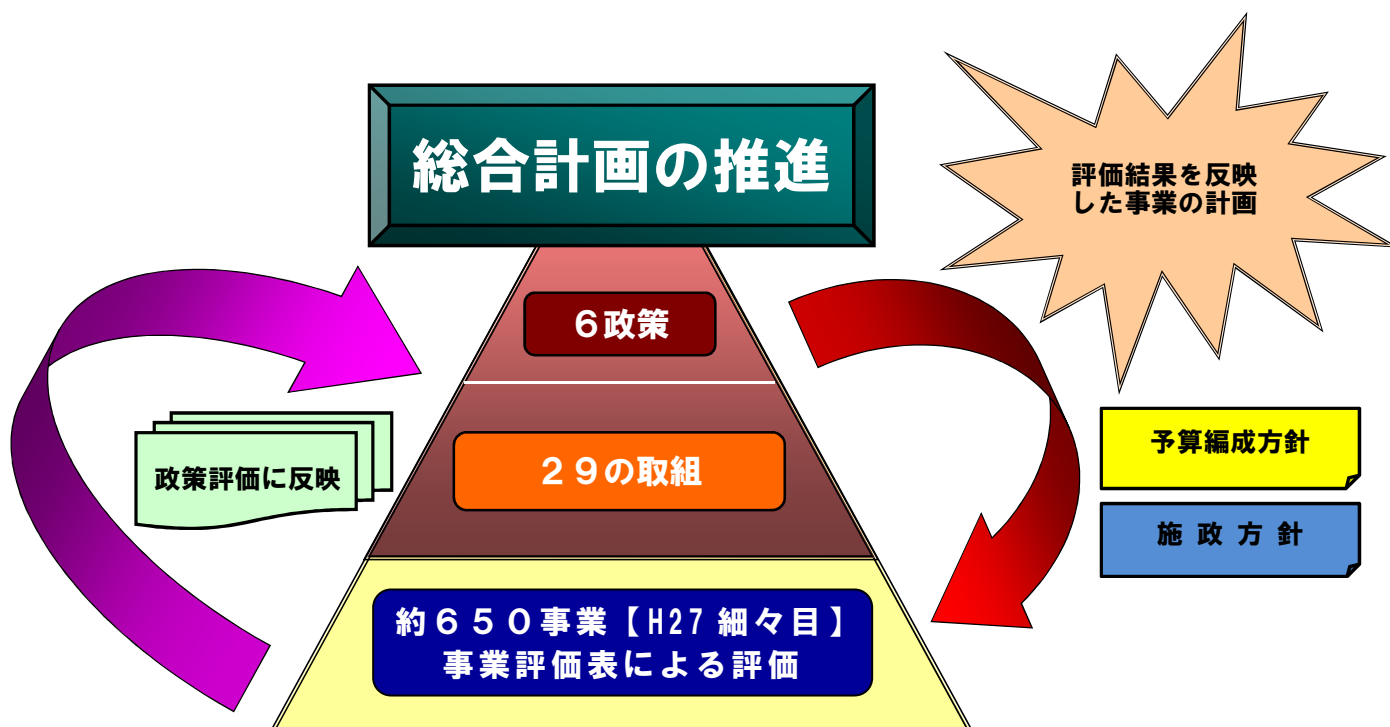
(4) 今年度の予定

- ・平成28年6月～8月 政策評価結果（案）を作成
- ・平成28年8月 行政経営会議にて政策評価（案）を協議
- ・平成28年9月 袋井市議会（常任委員会）に政策評価結果を報告
- ・平成28年10月 袋井市ホームページに政策評価結果を公表

次年度予算編成に政策評価結果を活用

- ・平成29年2月 袋井市議会にて次年度予算の審議
- ・平成29年3月 次年度予算の確定

【総合計画推進（政策評価等）のイメージ】



2 政策評価結果

総合計画後期基本計画期間の5年目となる平成27年度の政策評価を行った結果、6政策及び29取組の評価結果は次のとおりとなり、概ね順調な政策が2政策、一部改善を要する政策が4政策という結果となりました。

また、平成23年度から平成27年度までの計画期間を総括する評価を行いました。

6 政策の評価結果について

政策	H23	H24	H25	H26	H27	総合評価
政策1 みんなでつくる健康なまちづくり	B	B	B	B	C	B
政策2 みんなで備える安全・安心なまちづくり	B	B	B	B	B	B
政策3 みんなで取り組む快適なまちづくり	B	B	C	C	C	C
政策4 未来を拓く人づくり	B	C	C	C	C	C
政策5 活力ある産業づくり	B	B	B	B	B	B
政策6 とともに支え合う地域づくり	C	C	B	B	C	C

A：順調 B：概ね順調 C：一部に改善を要する D：全体的に改善を要する

29取組の評価結果について

【取組数の()の数値は、平成26年度実績】

評 価	4～3.6 (順調)	3.5～3 (概ね順調)	2.9～2 (一部改善)	1.9～1 (全部改善)	計
取組数	0(1)	16(15)	13(13)	0(0)	29
概ね順調（3.5～3）であったがさらに拡充していく取組【16取組のうち8取組】 政策2－1：地震対策の推進 政策3－6：快適な都市空間の創出 政策3－7：交通基盤の充実 政策4－2：心ゆたかな若者の育成 政策5－1：ゆたかな農業の振興 政策5－3：活力ある工業の振興 政策5－4：にぎわいある観光の振興 政策6－1：市民活動の支援					
一部に改善を要するため、さらに拡充していく取組【13取組のうち4取組】 政策1－1：健康づくりの推進 政策1－6：市民スポーツの充実 政策2－5：消防・救急体制の強化 政策4－1：子育て環境の充実					

政策1 みんなでつくる健康なまちづくり	政策評価					
	H23	H24	H25	H26	H27	総合評価
	B	B	B	B	C	B
取組	取組評価					今後の展開方向
	H23	H24	H25	H26	H27	
取組1 健康づくりの推進	3.1	↘2.9	↗3.1	↘2.7	↘2.6	↗
取組2 地域医療の充実	3.0	↗3.2	↗3.6	→3.6	↘3.4	→
取組3 健康長寿の推進	3.1	↘3.0	↗3.1	↗3.2	↘2.9	→
取組4 障がい者の自立支援	3.6	↘2.8	↗3.2	↘3.0	→3.0	→
取組5 共生社会の確立	2.8	↗3.0	↘2.8	↘2.7	↗3.0	→
取組6 市民スポーツの充実	3.3	↘2.8	↘2.3	↗2.6	↘2.3	↗
平均値	3.2	↘3.0	→3.0	→3.0	↘2.9	

A：順調 4～3.6 B：概ね順調 3.5～3 C：一部に改善を要する 2.9～2 D：全体的に改善を要する 1.9～1

【これまでの成果】

- ◎ 「中東遠総合医療センター」及び「聖隷袋井市民病院」を開設し、地域医療体制の充実を図った。
- ◎ 公民館等を活用し、積極的な介護予防事業を実施した。
- ◎ 障害者自立支援通所施設の整備により定員数が増加し、障害者福祉サービスが充実した。

【課題】

- ◎ 「糖尿病が強く疑われる人の割合」は目標をわずかに達成できなかったものの、この5年間で改善傾向が見られるため、引き続き個別指導や市民意識の向上に努める必要がある。
- ◎ ラグビーワールドカップ 2019 の開催に向け、機運を高めるとともに、市民のスポーツへの関わりを広げていく必要がある。

政策2 みんなで備える安全・安心なまちづくり	政策評価					
	H23	H24	H25	H26	H27	総合評価
	B	B	B	B	B	B
取組	取組評価					今後の展開方向
	H23	H24	H25	H26	H27	
取組1 地震対策の推進	3.3	↗3.8	→3.8	↘3.5	↘3.3	↗
取組2 治水・治山対策の推進	3.6	↘3.3	↗3.4	↘3.0	↘2.7	→
取組3 地域防犯の推進	2.7	↘2.6	→2.6	↗2.8	↗3.0	→
取組4 交通安全の推進	3.1	↘2.7	↗3.4	↘2.6	↗3.1	→
取組5 消防・救急体制の強化	3.5	↗3.7	↘3.3	↘2.9	↘2.8	↗
平均値	3.2	→3.2	↗3.3	↘3.0	→3.0	

A：順調 4～3.6 B：概ね順調 3.5～3 C：一部に改善を要する 2.9～2 D：全体的に改善を要する 1.9～1

【これまでの成果】

- ◎ 袋井市・津波対策アクションプログラム 2013 を策定し、袋井市津波ハザードマップの作成や、命山、津波避難タワー、防潮堤の整備などを進め、災害対策を推進した。
- ◎ 袋井市中部豪雨災害対策アクションプランにより、大谷川逆流防止水門の整備等を行い、水害対策を強化した。
- ◎ 山梨分遣所を整備し、袋井市北部地区の消防救急体制の充実・強化を図った。

【課題】

- ◎ 命山や津波避難タワー、防潮堤などのハード事業（公助）は、順調に事業を推進している。そのため、水・食糧の備蓄、ブロック塀の撤去などの自助や、避難所運営などの共助をさらに高め、地域防災力を一層向上させる必要がある。

政策3 みんなで取り組む快適なまちづくり	政策評価					
	H23	H24	H25	H26	H27	総合評価
	B	B	C	C	C	C
取組	取組評価					今後の展開方向
	H23	H24	H25	H26	H27	
取組1 循環型社会の形成	3.2	↘3.0	→3.0	↘2.7	→2.7	→
取組2 快適な衛生環境の確保	3.3	↘2.6	↘2.5	↘2.4	↗2.7	→
取組3 川と海の水質改善	2.5	↗3.3	↘2.9	↗3.1	→3.1	→
取組4 浅羽海岸地域の保全	3.4	↘2.3	↗2.7	↗2.8	↘2.4	→
取組5 憩いの空間の創出	3.1	↘2.8	→2.8	↘2.5	↗2.7	→
取組6 快適な都市空間の創出	3.0	↗3.2	→3.2	↘3.1	→3.1	↗
取組7 交通基盤の充実	3.5	↗3.6	↘3.4	↘3.1	↘3.0	↗
取組8 安全な水の安定供給	3.0	→3.0	↘2.7	↗2.9	→2.9	→
平均値	3.1	↘3.0	↘2.9	↘2.8	→2.8	

A：順調4～3.6 B：概ね順調3.5～3 C：一部に改善を要する2.9～2 D：全体的に改善を要する1.9～1

【これまでの成果】

- ◎ 袋井駅南北自由通路・橋上駅舎が供用開始され、都市拠点機能の強化が図られた。
- ◎ 三川地区での地域協働バス「かわせみ」が運行を開始した。
- ◎ 宇刈地区固有の自然資源を活かした宇刈里山公園を整備した。

【課題】

- ◎ 商業施設や公共施設などの都市機能を集約し、人口減少社会の到来に向けて快適で魅力あるまちづくりが求められている。
- ◎ インフラ整備について、将来にわたり安全で便利に施設を使い続けられるよう、長寿命化や計画的な修繕を行う必要がある。

政策4 未来を拓く人づくり	政策評価					
	H23	H24	H25	H26	H27	総合評価
	B	C	C	C	C	C
取組	取組評価					今後の展開方向
	H23	H24	H25	H26	H27	
取組1 子育て環境の充実	3.3	↘3.0	↗3.1	↘2.9	↘2.6	↗
取組2 心ゆたかな若者の育成	2.8	↗2.9	↗3.3	↘3.2	↘3.1	↗
取組3 芸術・文化・生涯学習の推進	2.9	↘2.6	↘2.4	→2.4	↗2.6	→
平均値	3.0	↘2.8	↗2.9	↘2.8	↘2.8	

A：順調4～3.6 B：概ね順調3.5～3 C：一部に改善を要する2.9～2 D：全体的に改善を要する1.9～1

【これまでの成果】

- ◎ 認可保育所の新設、預かり保育実施幼稚園の拡充などによる保育環境の改善を図った。
- ◎ 子ども・子育て支援エリア「育ちの森」の整備による、0歳から18歳までの切れ目のない支援の実現を図った。
- ◎ 小中学校応援サポート事業（レインボープラン）による、きめ細かな教育を推進した。

【課題】

- ◎ 認可保育所の新設や既存施設の定員拡大に努めてきたが、保育所申込者数の増加等により、平成27年4月1日の待機児童は30人となり、解消には至っていない。
- ◎ 児童福祉法の改正により、放課後児童クラブの受入対象年齢が小学6年生まで拡大されたため、平成31年度までに受入体制を整える必要がある。

政策5 活力ある産業づくり	政策評価					
	H23	H24	H25	H26	H27	総合評価
	B	B	B	B	B	B
取組	取組評価					今後の展開方向
	H23	H24	H25	H26	H27	
取組 1 ゆたかな農業の振興	2.9	↗3.1	↗3.2	↗3.3	→3.3	↗
取組 2 魅力ある商業の振興	3.0	↗3.2	→3.2	↗3.3	→3.3	→
取組 3 活力ある工業の振興	3.6	↘3.3	↘3.0	↗3.3	→3.0	↗
取組 4 にぎわいある観光の振興	2.7	↗3.0	↘2.7	↗3.2	↗3.5	↗
取組 5 就労の支援	3.0	↗3.2	↘3.0	↗3.1	→3.1	→
平均値	3.0	↗3.2	↘3.0	↗3.2	→3.2	

A：順調 4～3.6 B：概ね順調 3.5～3 C：一部に改善を要する 2.9～2 D：全体的に改善を要する 1.9～1

【これまでの成果】

- ◎ 3大基幹作物の消費拡大、市場開拓に向けた取組を行い、「ブランド米の生産・販売」や全国初となる「全国メロンサミット」を開催するなど、市内農作物の販路拡大に努めた。
- ◎ 山科東工業団地の完売、大規模な民間遊休地などへの企業立地が大きく推進した。
- ◎ 「ふくろい観光ルネッサンス事業」の取組、遠州三山・ふくろい遠州の花火を核とした既存資源を活用した観光戦略に加え、市内企業と連携した産業観光を展開した。

【課題】

- ◎ 企業誘致に取り組んだ結果、工業団地や民間遊休地への企業立地は大きく進んだが、一方で企業が立地できる工業用地がなくなり、新たな開発が急務となっている。
- ◎ 農業者の高齢化や若年就農者の減少が進む中、安定的な農業生産を維持するため、担い手の育成や利用修正の推進などにより、経営効率を高める必要がある。

政策6 ともに支え合う地域づくり	政策評価					
	H23	H24	H25	H26	H27	総合評価
	C	C	B	B	C	C
取組	取組評価					今後の展開方向
	H23	H24	H25	H26	H27	
取組 1 市民活動の支援	3.0	→3.0	↗3.5	↘3.0	→3.0	↗
取組 2 地域コミュニティの充実支援	2.7	↗2.8	↘2.5	↗3.0	↘2.5	→
平均値	2.9	→2.9	↗3.0	→3.0	↘2.8	

A：順調 4～3.6 B：概ね順調 3.5～3 C：一部に改善を要する 2.9～2 D：全体的に改善を要する 1.9～1

【これまでの成果】

- ◎ 協働まちづくりセンター「ふらっと」における市民活動団体等の交流促進や、市内全域で組織されている自治会及び自治会連合会により地域活動の活性化を図った。
- ◎ 協働まちづくり事業に地域の高校生が参加するなど、市民の協働意識が高まった。
- ◎ 自治会連合会ごとに地域担当職員を配置し、市民と行政のパートナーシップを推進した。

【課題】

- ◎ 核家族化や自治会員の高齢化等により、自治会加入世帯率が年々減少している。地域のつながりの必要性を周知するなど、自治会加入促進に努める必要がある。
- ◎ 協働まちづくり事業の事業数が減っていることから、さらなる市民と行政のパートナーシップの推進が求められている。

3 評価結果の市政運営への活用

平成29年度の市政運営については、政策評価の結果を踏まえ、より一層の業務改善を図りつつ、直面する課題にしっかりと対応していくこととします。また、第2次袋井市総合計画による新たなまちづくりを加速させ、着実な成果が上げられるよう、以下に掲げる視点を重点的に取り組みます。

～第2次袋井市総合計画により「日本一健康文化都市」を実現～

子育てするなら・定住するなら・市民力なら 袋井市と言われるまちへ

(1) 未来を担う世代の すこやかな成長を育むまちへ

子育てするなら袋井市

- 安心して子どもを産み、育てることができるよう、認可保育所や小規模保育事業所の新設、「育ちの森」による切れ目のない相談支援を実施し、子育て環境の充実に取り組みます。
- 児童・生徒が安心して学校生活が送れるよう教育環境の整備を進めるとともに、ICT機器の活用による、どの子にとっても「わかる授業」を実践し、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな学校教育を実施します。
- 誰もが安心して暮らせるよう病気の発症予防、重症化予防に取り組むとともに、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。

(2) だれもが快適に 安心して暮らせるまちへ

定住するなら袋井市

- 「にぎわいとうるおいのある健康的な都市空間の創出」を目指し、袋井駅南地区のにぎわいの充実に図るとともに、うるおいある良好な住環境の形成に向けた整備に取り組みます。
- 財政基盤の確立及び雇用機会の創出を図るとともに、津波被害の軽減を図り、だれもが安心して暮らせるまちを実現するため、豊沢工業団地整備事業と連携して「袋井幸浦の丘プロジェクト（防潮堤）」を進めます。
- 予想される南海トラフ巨大地震をはじめ、火災、救急救助など、複雑多様化する災害に対応する消防機能と、いかなる災害にも迅速に対応できる常設の市災害対策本部室を備えた袋井消防庁舎・袋井市防災センターの整備を推進します。

(3) 信頼と協働でつくる だれもが誇りを持てるまちへ

市民力なら袋井市

- 市民や地域が、行政との協働による地域づくりに取り組むための拠点施設として公民館を活用できるよう、現在の公民館の機能を充実させたコミュニティセンター化に取り組みます。
- ラグビーワールドカップ2019大会を契機として、“まちの国際化”を加速化させるため、市民の英語力向上に向けた取組と合わせて、訪日外国人との交流を目的とした（仮称）国際交流体験事業「ふくろい版ホームステイ」を推進します。